

カッセル国民文庫の書誌的研究(4)

—アメリカ版カッセル国民文庫第1期・第2期—

田村道美

はじめに

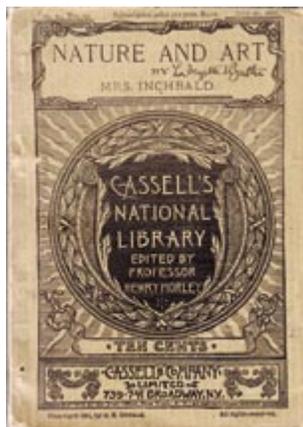
「カッセル国民文庫について」⁽¹⁾の中で、イギリスでカッセル国民文庫第1期が刊行された時期に、アメリカでも同文庫が装丁を異にして刊行されたことを指摘した。また、「アメリカ版カッセル国民文庫について」⁽²⁾では、イギリス版第3期が刊行された時期に、やはり装丁を異にしてアメリカ版が刊行された事実を挙げた。しかし、上記の論考を発表した時点ではまだ解明できていない点がいくつかあった。たとえば、アメリカ版には作品番号の前にVol. IとかVol. IIといった巻数が付いているが、この巻数は何を意味するのか、イギリス版では各期とも紙装とクロス装の2本立てで刊行されたが、アメリカ版でもクロス装が刊行されたのか、イギリス版第2期が刊行された時期にアメリカ版が刊行されなかったが、その理由は何であったのかなどである。

本稿では上記2論文発表以後の収集によって得ることのできた新事実を中心に、アメリカ版シリーズについての調査結果をまとめた。

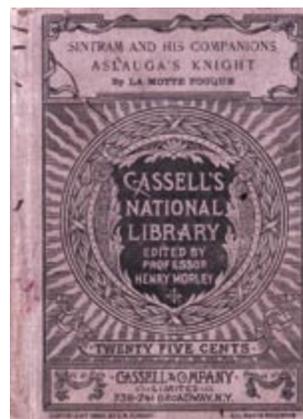
なお、本研究は科研費(21520259)の助成を受けたものである。

1. 第1期の装丁

アメリカ版カッセル国民文庫第1期も、イギリス版同様、紙装(14×9.7cm)とクロス装(14.5×10.2cm)の2本立てで刊行された。ただし、下に掲げた書影からもわかるように、表紙の意匠はイギリス版と全く異なる。表紙の色も、イギリス版第1期では紙装もクロス装も数種類の色があったが、アメリカ版ではそれぞれ1種類で、紙装が鶯色で、クロス装が灰色である。



第1期紙装



第1期クロス装

定価は紙装が10セント、クロス装が25セントで、イギリス版と同じく表紙に印刷されている。イギリス版との相違は、発行所がNew Yorkだけになっていることと、発行所が扉だけでなく表紙にも印刷されていることである。

2. 第1期の刊行作品と作品番号と刊行年

アメリカ版第1期の*Nature and Art*の紙装本の表紙は次のようである。

VOL. I., No. 25. Subscription price per year. \$5.00 JULY 17, 1886.

ISSUED WEEKLY

NATURE AND ART

BY

MRS. INCHBALD.

CASELL'S

NATIONAL

LIBRARY

EDITED BY

PROFESSOR

HENRY MORLEY

TEN CENTS

CASELL & COMPANY

LIMITED.

739-741 BROADWAY. N. Y

Entered at the Post Office, New York, N. Y., as second-class matter.

Copyright 1886, by O. M. DUNHAM.

All rights reserved.

イギリス版では刊行年は扉下部に印刷されているが、アメリカ版では扉下部にはなく、表紙の右上に小さな活字で印刷されている。刊行年だけでなく、月日まで記されているのもイギリス版と異なる点である。ところで、アメリカ版第1期の紙装とクロス装の表紙はよく似ているが、実は重要な点で異なっている。それは、クロス装の表紙上部には刊行年月日が記されていないことである。また、クロス装も紙装と同じように扉に発行年は印刷されていない。したがって、クロス装のみでは作品の刊行年は特定できないのである。たとえば、Nacsis WebcatでCassell's National Libraryを検索すると、発行年が記されていない、あるいは19--といった中途半端な記し方をした作品が数点ヒットする。東京大学総合図書館所蔵の*Crotchet Castle*の発行年は19--となっている。確認のために表紙のコピーを送ってもらくと、果たして第1期のクロス装であった。本稿の最後に掲げたアメリカ版第1期作品刊行目録にも記したように、この作品の発行年月日は1887年2月19日である。また、大阪大学附属図書館所蔵の*Murder as a Fine Art, and the English Mail Coach*の刊行年は1886年となっている。この作品はアメリカ版独自で刊行されたもので、作品番号69として1887年5月21日に

刊行された。したがって、刊行年が1886年というのはいりえないことになる。表紙のコピーを確認すると、これもアメリカ版第1期クロス装であり、当然ながら表紙右上に発行年月日は印刷されていない。表紙左下にCopyright 1886, by O. M. DUNHAM とあるので、同大学附属図書館の司書がこの1886年を発行年と勘違いしたと思われる。

表紙に関して、イギリス版とアメリカ版とでもう1点異なるところがある。上に掲げた*Nature and Art*の表紙左上にVOL. I., No. 25. とあるように、アメリカ版(ただし、紙装本のみ)では作品番号の前に巻数が付いている。この巻数について、「アメリカ版カッセル国民文庫について」で次のような法則性があると述べた。

筆者の手許にあるアメリカ版カッセル国民文庫4冊のVolumeとNo.は次のようになっている。

Nature and Art, Vol. I., No.25. (July 17, 1886)

The Life of Lord Herbert of Cherbury, Vol. II., No. 54. (Feb. 5, 1887)

The Earl of Chatham, Vol. II., No. 65. (April 23, 1887)

My Beautiful Lady, Vol. II., No. 82. (Aug. 20, 1887)

この4例により、Vol. I = No.1~50、Vol. II = No.51~100、Vol. III = No.101~150、Vol. IV = No.151~200、Vol. V = No.201~214 となる⁽³⁾。

しかし、今回の調査により、この推測は誤りであるとわかった。下に掲げたのは、今回入手等により巻数、作品番号、発行年月日が確認できた作品の一覧である。

巻数、作品番号	作品名	刊行年月日
I., 9	<i>The Castle of Otranto</i>	1886.4.10
I., 15	<i>Table Talk</i>	1886.5.8
I., 22	<i>Egypt and Scythia</i>	1886.6.26
I., 23	<i>Hamlet</i>	1886.7.3
I., 26	<i>Nature and Art</i>	1886.7.17
I., 31	<i>Religio Medici</i>	1886.8.28
I., 32	<i>The North-West Passage</i>	1886.9.4
I., 35	<i>The Sorrows of Werter</i>	1886.9.25
I., 39	<i>Macbeth</i>	1886.10.23
I., 40	<i>Early Australian Voyages</i>	1886.10.30
I., 42	<i>The Diary of Samuel Pepys (1662-1663)</i>	1886.11.13
I., 44	<i>Lives of Demetrius, Mark Antony, &c.</i>	1886.11.27
I., 46	<i>Travels in England in 1782</i>	1886.12.11
I., 48	<i>Confessions of an Inquiring Spirit, &c.</i>	1886.12.25
I., 51	<i>A Christmas Carol, and The Chimes</i>	1887.1.15
II., 53	<i>Wanderings in South America</i>	1887.1.29
II., 54	<i>The Life of Lord Herbert of Cherbury</i>	1887.2.5
II., 56	<i>Crochet Castle</i>	1887.2.19
II., 58	<i>Lays of Ancient Rome, &c.</i>	1887.3.5
II., 62	<i>Rosalind</i>	1887.4.2
II., 65	<i>The Earl of Chatham</i>	1887.4.23
II., 73	<i>Julius Caesar</i>	1887.6.18
II., 82	<i>My Beautiful Lady, &c.</i>	1887.8.20

II., 83	<i>Travels in Interior of Africa, vol. I</i>	1887.8.27
II., 84	<i>Travels in Interior of Africa, vol. II</i>	1887.9.3
II., 91	<i>Endymion and Other Poems</i>	1887.10.22
II., 93	<i>Human Nature and Other Sermons</i>	1887.11.5
II., 98	<i>Poems by Dryden</i>	1887.12.10
II., 104	<i>An Essay upon Projects</i>	1888.1.21
III., 109	<i>The Republic of the Future</i>	1888.2.25
III., 111	<i>Seven Discourses on Art</i>	1888.3.10
III., 117	<i>Sketches of Persia, vol.I</i>	1888.4.21
III., 120	<i>Sketches of Persia, vol.II</i>	1888.5.12
III., 130	<i>The Victories of Love, and Other Poems</i>	1888.7.21
IV., 165	<i>Travels in England</i>	1889.4.6
IV., 191	<i>Rasselas, Prince of Abyssinia</i>	1889.10.5
V., 213	<i>The Life of Nelson</i>	1890.2.18

上に掲げた作品の巻数と作品番号を見ると、作品番号51：A *Christmas Carol*の巻数はVol. IIではなく、Vol. Iである。作品番号104：An *Essay upon Projects*の巻数もVol. IIIではなく、Vol. IIである。したがって、Vol. I = No.1～50, Vol. II = No.51～100という法則は成立しえない。また、巻数は1年間に刊行された作品を示しているとも考えたが、1887年1月に刊行されたA *Christmas Carol*の巻数がVol. Iであることから、この考えも成り立たない。それでは巻数は何を表しているのだろうか。ここで手がかりとなるのが、作品番号53：Wanderings in South Americaの巻数がVol. IIだという事実である。「カッセル国民文庫の書誌的研究（1）—カッセル国民文庫第1期—」で述べたように、イギリス版第1期は209点刊行されたが、実質的には208点目のAll's Well That Ends Wellがその題名通り最終作品であり、209点目のRomeus and Julietは一種の付録として刊行された⁽⁴⁾。すなわち、編者のHenry Morley教授はカッセル国民文庫を創刊するにあたり、毎週1点刊行し、4年間で完了しようとしたと考えられる。毎週1点刊行すると、1年間の刊行点数は52、4年間の刊行点数は208となる。

イギリス版第1期の作品番号136として刊行されたThe Merry Wives of Windsor (1888年)の「後付け」(back matter)にList of First Year's IssueとList of Second Year's Issueが掲載されている。それによれば、カッセル国民文庫刊行1年目の1886年には、作品番号1：Warren Hastingsから作品番号52：A *Christmas Carol, and The Chimes*までの52点が、刊行2年目の1887年には、作品番号53：The *Christian Year*から作品番号104：The *Cricket on the Hearth*までの52点が刊行されたという。おそらく、アメリカ版を刊行するにあたり、ニューヨーク支社ではこの年間刊行点数の52を巻数の単位としたと考えられる。また、同じ巻数が年を跨いでいるのは、アメリカ版がイギリス版より約1ヶ月遅れで刊行を開始したことによる。

「アメリカ版カッセル国民文庫について」で、イギリス版作品番号6：Childe Haroldがアメリカ版では2番目に刊行されたことから、アメリカ版はイギリス版より1ヶ月前後遅れて刊行を開始したと考えられると述べたが、今回の調査でこの推測が正しかったことが裏付けられた。先にアメリカ版第1期の作品中、発行年月日の確認できたものを掲げたが、当時の暦にあたってみると、どの日も土曜日であり、作品番号順に毎週1回刊行されていたことが確認できた。それによれば、作品番号1：My *Ten Years' Imprisonment*は1886年1月30日に刊行された。

アメリカ版第1期の巻数、刊行年、作品番号、作品数は以下の通りである。

巻数	刊行年(月日)	作品番号	刊行作品数
Vol. I	1886年(1月30日)～1887年(1月22日)	No. 1～52	52
Vol. II	1887年(1月29日)～1888年(1月21日)	No. 53～104	52
Vol. III	1888年(1月28日)～1889年(1月19日)	No. 105～156	52
Vol. IV	1889年(1月26日)～1890年(2月1日)	No. 157～208	52
Vol. V	1890年(2月8日～3月15日)	No. 209～214	6

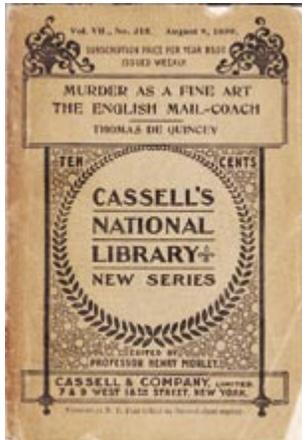
ところで、イギリス版第1期とアメリカ版第1期とでは刊行作品数に若干の相違がみられる。アメリカ版第1期全刊行作品はアメリカ版第3期の巻末に付せられた刊行目録によって知ることができる。この目録には作者がアルファベット順に並べられ、作者名の後に作品名、最後に作品番号が記載されている。少々面倒ではあるが、作品番号を1から順に追っていくと、奇妙なことに気づく。それは157A、157B、158A、158Bという番号があることと、最後の作品番号が214だということである。既述のとおり、イギリス版第1期の総刊行点数は209である。しかるに、アメリカ版では214点であり、しかも157B、158Bを加えれば、総刊行点数は216となる。このようにアメリカ版では刊行点数が7点多いのである。この相違はどこから来ているのだろうか。理由の1つは、イギリス版では刊行されなかった作品が2つ追加されていること、もう1つの理由は、イギリス版第2期で新たに追加された5作品が加わっていることである。

アメリカ版のみで刊行された2作品とはThomas de Quinceyの*Murder as a Fine Art*とAnna Bowman Doddの*The Republic of the Future*である。前者は作品番号69として1887年5月21日に、後者は作品番号109として1888年2月25日に刊行された。*Murder as a Fine Art*には、他の作品同様、Henry Morley教授の序文が付いているが、序文にはこの作品がアメリカ版でのみ刊行される理由についての説明は記されていない。また、*The Republic of the Future*には序文がないため、古典的作品とは言いがたいこの反ユートピア小説がなぜカッセル国民文庫に収められたのか、その理由は不明である。

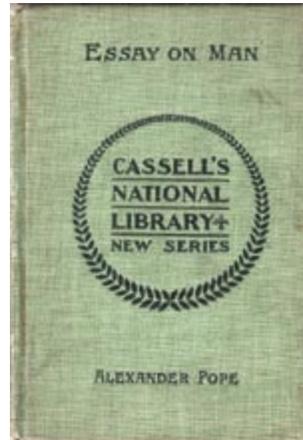
さて、アメリカ版の157A、157B、158A、158Bという作品番号についてであるが、このような表記法が採られた理由は次のように考えられる。上に挙げたイギリス版では刊行されなかった2つの作品を刊行後、1年ほど経過した1889年1月頃に、アメリカ支社はそのまま作品番号を付けていくと、全刊行点数が214ではなく、216になってしまうことに気づき、調整のためにVol. IVの最初の作品番号157と2番目の作品番号158にそれぞれA、Bを付けることにしたのであろう。しかしながら、第1期刊行時期にイギリス版第2期の刊行総点数が214になることをなぜ知っていたのかという謎は残る。「カッセル国民文庫の書誌的研究(2)ーカッセル国民文庫第2期ー」で述べたように、イギリス版第2期は1891年1月から刊行を開始し、追加作品5点の内、4点は早い時期、具体的には1891年に刊行されたが、残りの1点Selections from Wordsworthは1892年に刊行されたものの、番外編として刊行され、最終的に同文庫の最終作品として刊行されたのは1895年2月であった⁽⁵⁾。それにもかかわらず、なぜアメリカ版第1期ではSelections from Wordsworthを作品番号214として1890年3月に刊行できたのかその理由は全く不明であり、その説明は今後の課題としたい。

3. 第2期の装丁

アメリカ版カッセル国民文庫第2期も紙装(14×9.6cm)とクロス装(14.5×10cm)の2本立てで刊行された。表紙の意匠は第1期と異なっている。また、紙装の表紙には定価(10セント)が印刷されているが、クロス装の表紙には定価が印刷されていない。この点も第1期と異なる点である。巻末に“The Cream of the World’s Literature”という惹句の付いた刊行目録が付いているが、その冒頭に、



第2期紙装



第2期クロス装

“Price in Paper, 10 Cents per Volume/ In Cloth, 20 Cents”とあるので、クロス装は20セントであったとわかる。第1期では、クロス装の定価は25セントであったから、5セント値下げしたようである。

なお、アメリカ版第2期はイギリス版第3期の本体に表紙を張り替え、巻末にアメリカ版第1期の刊行書目を付して刊行された。

4. 第2期の刊行作品と作品番号と刊行年

イギリス版第2期が刊行された時期（1891年1月～1895年2月）に、アメリカ版は刊行されなかった。それはイギリス版第2期の扉下部に印刷されている発行所からNew Yorkが消えていることから明らかである。*The House of Cassell, 1848-1958*によれば、当時ニューヨーク支店長を務めていたOscar M. Dunhamはロンドン本社のやり方では地元の出版社に太刀打ちできないことから、独立会社を立ち上げ、アメリカ式に経営したいと本社の上層部に訴え、1890年1月にThe Cassell Publishing Companyを設立したという⁽⁶⁾。（因に、Londonの本社名はCassell and Company, Limitedであった。）そして、Dunhamは1890年1月から独自の方針で書籍を発行したために、イギリス版第2期に対応するシリーズがアメリカでは刊行されなかったと考えられる。

ところで、Dunhamは独立したものの、The Cassell Publishing Companyの経営は思わしくなく、1893年6月に支払い不能となり、会社は破産管財人の手にゆだねられてしまう。Dunhamは行方をくらましたため、カッセル社は倒産の危機に直面するが、印刷業者で第一債権者のWilliam Mershonにより1893年に再建された。しかし、そのMershonも1897年に自分の出版社設立のため、カッセル社を解散してしまう。

その翌年の1898年4月にロンドンのカッセル本社はニューヨークの7 & 9 West Eighteenth Streetに新支社を構えた⁽⁷⁾。そして、「カッセル国民文庫の書誌的研究（3）—カッセル国民文庫第3期・第4期—」で述べたように、イギリス本社は1898年1月から第3期の刊行を開始した⁽⁸⁾。それに合わせて、ニューヨーク支社もカッセル文庫を再度刊行した。作品番号315として刊行された*Murder as a Fine Art*の紙装の表紙は以下のようなものである。

Vol. VII., No. 315. August 9, 1899.

SUBSCRIPTION PRICE PER YEAR \$5.00

ISSUED WEEKLY.

MURDER AS A FINE ART
THE ENGLISH MAIL = COACH

THOMAS DE QUINCEY.

TEN

CENTS

CASELL'S
NATIONAL
LIBRARY
NEW SERIES

EDITED BY
PROFESSOR HENRY MORLEY.

CASELL & COMPANY, LIMITED.
7 & 9 WEST 18TH STREET, NEW YORK.

Entered at N. Y. Post Office as second-class matter.

この時期にアメリカで刊行されたものをアメリカ版第2期としておく。以下に示すのは、これまでに入手等で確認できたアメリカ版第2期の巻数、作品番号、発行年月日である。

巻数、作品番号 (第1期作品番号)	作品名	刊行年月日
VI., No. 302 (30)	<i>The Merchant of Venice</i>	1899.5.10
VI., No. 304 (160)	<i>Othello</i>	1899.5.24
VI., No. 305 (28)	<i>Sir Roger de Coverley</i>	1899.5.31
VI., No. 307 (14)	<i>The Lady of the Lake</i>	1899.6.14
VII., No. 315 (69)	<i>Murder as a Fine Art</i>	1899.8.9
VII., No. 317 (87)	<i>King Henry VIII</i>	1899.8.23
VII., No. 318 (79)	<i>A Midsummer-Night's Dream</i>	1899.8.30
VII., No. 320 (37)	<i>Nathan the Wise</i>	1899.9.13
VII., No. 321 (184)	<i>Essays Civil and Moral</i>	1899.9.20
VII., No. 323 (29)	<i>Voyages and Travels</i>	1899.10.4
VII., No. 326 (49)	<i>As You Like It</i>	1899.10.25
VII., No. 338 (110)	<i>King Lear</i>	1900.1.17
VII., No. 341 (98)	<i>Poems by John Dryden</i>	1900.2.7
VII., No. 343 (194)	<i>A Defence of Poesie</i>	1900.2.21
VII., No. 344 (62)	<i>Rosalind</i>	1900.2.28
VII., No. 345 (20)	<i>The Battle of Books</i>	1900.3.7
VII., No. 346 (47)	<i>Undine, and The Two Captains</i>	1900.3.14
VII., No. 347 (191)	<i>Rasselas, Prince of Abyssinia</i>	1900.3.21

VII., No. 348 (150)	<i>Romeo and Juliet</i>	1900.3.28
VII., No. 351 (195)	<i>King Richard III</i>	1900.4.18
VII., No. 353 (146)	<i>The Taming of the Shrew</i>	1900.5.2
VII., No. 354 (25)	<i>Nature and Art</i>	1900.5.9
VIII., No. 373 (57)	<i>Lives of Pericles, Fabius Maximus, & c</i>	1900.9.12
VIII., No. 374 (116)	<i>Much Ado about Nothing</i>	1900.9.19
VIII., No. 379 (180)	<i>Paradise Regained and Samson Agonistes</i>	1900.10.31
VIII., No. 382 (36)	<i>Lives of the Poets (Butler, Denham, & c)</i>	1900.11.21
VIII., No. 384 (205)	<i>Measure for Measure</i>	1900.12.5
VIII., No. 385 (177)	<i>The Discovery of Muscovy</i>	1900.12.12
VIII., No. 396 (195)	<i>Old Age and Friendship</i>	1901.3.27
IX., No. 419 (66)	<i>The Discovery of Guiana, & c</i>	1901.8.7

当時の暦と発行年月日を照合してみると、第2期は毎週水曜日に刊行されたことがわかる。次に巻数と作品番号であるが、巻数はVI~IXで、作品番号はほとんどが300台である。先にみたように、アメリカ版第2期はイギリス版第3期の本体に表紙を張り替えただけで刊行されたもので、したがって刊行点数はイギリス版と同じく214点となる。しかし、アメリカ版第2期の作品番号の多くが300台ということは、第2期の作品番号は第1期の最終作品番号に新たに数字を付け加えたものと推測される。第1期の最終作品は*Selections from Wordsworth*で、巻数はV、作品番号は214である。確認できた第2期の作品番号で一番若いのは302で刊行年月日は1899年5月10日である。暦で遡ると、アメリカ版第2期の最初の作品となる作品番号215は1897年10月20日に刊行されたことになる。ニューヨーク新支社ができたのが1898年4月であるから、それより半年前にこの作品を刊行するのは不可能である。

先に述べたように、アメリカ版の巻数は作品52点を単位としている。第1期の最終作品の巻数はVで、作品番号207から260までが刊行可能である。したがって、作品番号215~260は実際には刊行されなかったが、第2期の最初の巻数をVIとすることに決定する際に、巻数の単位52点を踏襲し、VIの最初の作品番号を261としたと考えられる。暦で調べると、作品番号261はニューヨーク新支社設立後3ヶ月後の1898年7月27日に刊行されたことになり、時間的な齟齬は生じない。

第2期の巻数、刊行年月日、作品番号等を一覧表にすれば、以下のようである。

巻数	刊行年	作品番号	刊行作品数
Vol. VI	1898年7月27日~1899年7月19日	No. 261~312	52
Vol. VII	1899年7月26日~1900年7月11日	No. 313~364	52
Vol. VIII	1900年7月18日~1901年7月17日	No. 365~416	52
Vol. IX	1901年7月24日~1902年7月16日	No. 417~468	52
Vol. X	1902年7月23日~8月27日	No. 469~474	6

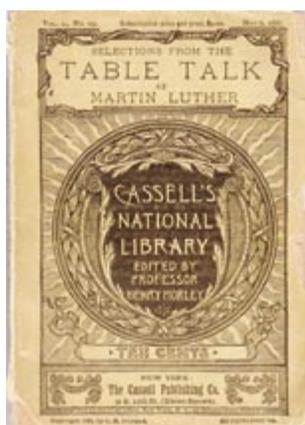
筆者が入手等で確認できた第2期の巻数・作品番号VI., No. 302~VI., No. 307, VII., No. 315~VII., No. 354, VIII., No. 373~VIII., No. 396, IX., No. 419を上の一覧表と照らし合わせてみると、巻数と作品番号と発行年月日はすべて当てはまり、筆者の推測は正しいと思われる。

ところで、上に掲げた確認できた作品の一覧表では第2期の作品番号の後に括弧付きで第1期の作品番号を付したが、第2期の作品番号は第1期の作品番号に260を加えた数には必ずしもなっていない。つまり、第2期作品の刊行順は第1期のそれとは違っていることがわかる。第2期作品の巻末には刊行目録が付いているが、それは第1期のもので、したがって、第2期の作品番号の特定には役立たない。

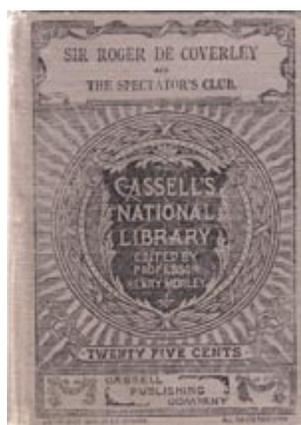
「カッセル国民文庫の書誌的研究(3)ーカッセル国民文庫第3期・第4期一」で明らかにしたように、イギリス版第3期は作品番号通りには刊行されなかった。イギリス版第3期の本体に表紙を張り替え、巻末にアメリカ版第1期の刊行書目を付けただけで刊行されたアメリカ版も当然作品番号順には刊行されなかったと考えられる。

5. The Cassell Publishing Company 版カッセル国民文庫

アメリカ版カッセル国民文庫第1期の紙装(14×9.6cm)とクロス装(14.5×10cm)の表紙の意匠とほぼ同じであるが、表紙下部に記されている出版社名と住所が違うカッセル国民文庫が存在する。第1期の表紙では発行所はCASSELL & COMPANY/ LIMITED/ 739・741 BROADWAY, N. Y.となっているが、問題のカッセル文庫ではNEW YORK:/ The Cassell Publishing Co./ 31 E. 17th St. (Union Square)となっている。なお、紙装の色も若干違っており、第1期が鶯色であったのに対して、第2期ではクリーム色になっている。



紙装



クロス装

先にみたように、DunhamがThe Cassell Publishing Companyを設立したのは1890年であった。しかるに、書影として掲げた*Selections from the Table Talk by Martin Luther*の表紙上部右を見ると、発行年月日はMAY 8, 1886.とある。明らかに時間的に矛盾がある。この矛盾の謎を解くためには、再度ニューヨーク支社の歴史を見る必要がある。1890年にDunhamはロンドン本社から独立したものの、The Cassell Publishing Companyの経営は思わしくなく、1893年6月にWilliam L. Mershonが会社再建に乗り出す。そして、Mershonは31 East Seventeenth St. (on Union Square)に新社屋を移転したという⁽⁹⁾。上の紙装本の書影下部にあるのがこの住所である。これらの事実から、今問題にしているカッセル国民文庫はMershonがThe Cassell Publishing Companyを引き継いだ1893年から刊行されたもの推測される。この推測が正しければ、もう一つの謎も解けることになる。

この作品には巻末に紙質の異なる刊行総目録が付いている。先に述べたように、この目録では作家名がアルファベット順に並べられ、その後に作品と作品番号が記されており、目録の頁上部余白には“ORDER BY NUMBERS.”とある。「番号でご注文ください」の「番号」とは作品番号のことである。ということは、この作品が刊行された時点で、どの作品でも注文すれば入手できたことを意味する。以上のことから次のことが推測できる。The Cassell Publishing Companyの経営を引き継いだMershonは第1期の在庫品の処分を考え、表紙を張り替え、刊行総目録を付して刊行したのであろう。その際、表紙を全面的に変更することはせず、出版社名だけを変更することで無駄な費用と労力を省こうとしたのであろう。その結果、1893年以降に刊行された作品にもかかわらず第1期

の刊行年(1886~90年)が表紙にそのまま残ったと考えられる。この推測が正しければ、The Cassell Publishing Company刊行のカッセル国民文庫は1893年からMershonが同社の経営を放棄した1897年の間に刊行されたことになる。しかしながら、上に述べたような理由から、各作品の正確な発行年を知ることはできない。

おわりに

アメリカ版カッセル国民文庫は大英図書館には全く所蔵されいないし、アメリカ合衆国議会図書館やアメリカの公共図書館、大学図書館に所蔵されている数もあまり多くない。また、アメリカの図書館に所蔵されていても、クロス装本の場合には発行年が記されておらず、発行年の特定には役立たない。どうしても紙装本の入手が必要となるが、紙装本は痛みやすく、図書館所蔵のものはしばしば改装されていて、肝心の表紙がなくなっている場合が少なくなかった。結果として、欧米の古書店に頼らざるを得なかったが、文庫本ということもあり、入手には困難をきわめた。このような厳しい事情にもかかわらず、2003年に「アメリカ版カッセル国民文庫について」を発表した当時解明できなかったいくつかの点について、今回なんとか解答を出すことができた。

具体的には、巻数の単位は作品52点であること、装丁に関しては、イギリス版同様、紙装とクロス装の2本立てで刊行されたこと、イギリス版第2期が刊行された時期にアメリカ版が刊行されなかったのは、ニューヨーク支店長のDunhamがロンドン本社から独立し、独自の経営方針で書籍を刊行したためであることを解明できた。さらに、紙装本の表紙に印刷された発行年月日と当時の暦を照合することにより、第1期は毎週土曜日に、第2期は毎週水曜日に刊行されたことを明らかにすることができた。そして、今回の調査研究の最大の収穫は表紙下部にThe Cassell Publishing Companyとあるカッセル文庫の存在とその刊行理由を明らかにできたことである。

残された課題はアメリカ版第2期とイギリス版第3期の作品刊行順位の特定である。すでに述べたように、両シリーズは作品番号順には刊行されなかっただけでなく、大英図書館や合衆国議会図書館等にもほとんど収蔵されていない。したがって、両シリーズの作品の刊行順を特定するのは今のところ至難の業に近いが、正確な刊行書目作成を目指し、今後とも収集に努めていきたい。

注

- (1) 「カッセル国民文庫について」、田村道美他『絶版文庫嬉遊曲』（青弓社、2002年）所収。
- (2) 田村道美「アメリカ版カッセル国民文庫について」(『香川大学教育学部研究報告』第I部第119号、2003年)。
- (3) 同書、p.4.
- (4) 田村道美「カッセル国民文庫の書誌的研究(1)ーカッセル国民文庫第1期ー」(『香川大学教育学部研究報告』第I部第135号、2011年)。
- (5) 田村道美「カッセル国民文庫の書誌的研究(2)ーカッセル国民文庫第2期ー」(『香川大学教育学部研究報告』第I部第136号、2011年)。
- (6) Simon Nowell-Smith, *The House of Cassell, 1848-1958* (London: Cassell & Co., 1958), p.263.
- (7) 同書、p.264.
- (8) 田村道美「カッセル国民文庫の書誌的研究(3)ーカッセル国民文庫第3期・第4期ー」(『香川大学教育学部研究報告』第I部第137号、2012年)。
- (9) *The House of Cassell, 1848-1958*, p.264.

アメリカ版カッセル国民文庫第1期刊行書目

本書目では、作品番号の次に括弧付きでイギリス版第1期の作品番号を付した。また、クロス装には発行年月日等の情報は記されていないので、各作品の最後に発行年月日を掲げ、同文庫研究者や図書館司書の方々の便宜を図った。

- 1 (2) . *My Ten Years' Imprisonment* By Silvio Pellico 1886.1.30
 2 (6) . *Childe Harold* By Lord Byron 1886.2.6.
 3 (4) . *The Autobiography of Benjamin Franklin* 1886.2.13.
 4 (5) . *The Complete Angler* By Isaac Walton 1886.2.20.
 5 (7) . *The Man of Feeling* By Henry Mackenzie 1886.2.27.
 6 (3) . *The Rivals, and The School for Scandal* By R. B. Sheridan 1886.3.6.
 7 (8) . *Sermons on the Card* By Bishop Latimer 1886.3.13.
 8 (9) . *Lives of Alexander and Caesar* By Plutarch 1886.3.20.
 9 (10) . *The Castle of Otranto* By Horace Walpole 1886.3.27.
 10 (11) . *The Voyages and Travels* By Sir John Maundeville 1886.4.3.
 11 (12) . *She Stoops to Conquer, and The Good-Natured Man* By Oliver Goldsmith 1886.4.10.
 12 (26) . *Life and Adventures of Baron Trenck, vol. I* 1886.4.17.
 13 (27) . *Life and Adventures of Baron Trenck, vol. II* 1886.4.24.
 14 (13) . *The Lady of the Lake* By Sir Walter Scott 1886.5.1.
 15 (14) . *Table Talk* By Martin Luther 1886.5.8.
 16 (15) . *The Wisdom of the Ancients* By Francis Bacon 1886.5.15
 17 (16) . *Francis Bacon* By Lord Macaulay 1886.5.22.
 18 (17) . *Lives of the Poets* (Waller, Milton, Cowley) By Samuel Johnson 1886.5.29.
 19 (18) . *Thoughts on the Present Discontents, &c.* By Edmund Burke 1886.6.5.
 20 (19) . *The Battle of the Books, &c.* By Jonathan Swift 1886.6.12.
 21 (20) . *Poems* By George Crabbe 1886.6.19.
 22 (21) . *Egypt and Scythia* By Herodotus 1886.6.26.
 23 (22) . *Hamlet* By William Shakespeare 1886.7.3.
 24 (23) . *Voyagers' Tales* By Richard Hakluyt 1886.7.10.
 25 (24) . *Nature and Art* By Mrs. Inchbald 1886.7.17.
 26 (25) . *Lives of Alcibiades, Coriolanus, &c.* By Plutarch 1886.7.24.
 27 (28) . *Essays* By Abraham Cowley 1886.7.31.
 28 (29) . *Sir Roger de Coverley* By Steele and Addison 1886.8.7.
 29 (30) . *Voyages and Travels* By Marco Polo 1886.8.14.
 30 (31) . *The Merchant of Venice* By William Shakespeare 1886.8.21.
 31 (32) . *Religio Medici* By Sir Thomas Browne 1886.8.28.
 32 (35) . *The North-West Passage* By Richard Hakluyt 1886.9.4.
 33 (33) . *The Diary of Samuel Pepys* (1660-1661) 1886.9.11.
 34 (34) . *Earlier Poems* By John Milton 1886.9.18.
 35 (36) . *The Sorrows of Werter* By Goethe 1886.9.25.
 36 (37) . *Lives of the Poets* (Butler, Denham, Dryden, & c) By Samuel Johnson 1886.10.2.

- 37 (38) . *Nathan the Wise* By Lessing 1886.10.9.
 38 (39) . *Grace Abounding* By John Bunyan 1886.10.16.
 39 (40) . *Macbeth* By William Shakespeare 1886.10.23.
 40 (43) . *Early Australian Voyages* By John Pinkerto 1886.10.30.
 41 (42) . *Poems* By Alexander Pope 1886.11.6.
 42 (41) . *The Diary of Samuel Pepys* (1662–1663) 1886.11.13.
 43 (44) . *The Bravo of Venice* By M. G. Lewis 1886.11.20.
 44 (45) . *Lives of Demetrius, Mark Antony, &c.* By Plutarch 1886.11.27.
 45 (46) . *Peter Plymley's Letters, &c* By Sydney Smith 1886.12.4.
 46 (47) . *Travels in England in 1782* By C. P. Moritz 1886.12.11.
 47 (48) . *Undine, and The Two Captains* By La Motte Fouque 1886.12.18.
 48 (49) . *Confessions of an Inquiring Spirit, &c.* By S. T. Coleridge 1886.12.25
 49 (50) . *As You Like It* By William Shakespeare 1887.1.1.
 50 (51) . *A Journey to the Hebrides* By Samuel Johnson 1887.1.8.
 51 (52) . *A Christmas Carol, and The Chimes* By Charles Dickens 1887.1.15.
 52 (53) . *The Christian Year* By John Keble 1887.1.22.
 53 (54) . *Wanderings in South America* By Charles Waterton 1887.1.29.
 54 (55) . *The Life of Lord Herbert of Cherbury* 1887.2.5.
 55 (56) . *The Hunchback, and The Love-Chase* By J. Sheridan Knowles 1887.2.12.
 56 (57) . *Crotchet Castle* By Thomas Love Peacock 1887.2.19.
 57 (58) . *Lives of Pericles, Fabius Maximus, &c.* By Plutarch 1887.2.26.
 58 (59) . *Lays of Ancient Rome, &c.* By Lord Macaulay 1887.3.5.
 59 (60) . *Sermons on Evil-Speaking* By Isaac Barrow 1887.3.12.
 60 (61) . *The Diary of Samuel Pepys* (1663–1664) 1887.3.19.
 61 (62) . *The Tempest* By William Shakespeare 1887.3.26.
 62 (63) . *Rosalind* By Thomas Lodge 1887.4.2.
 63 (64) . *Isaac Bickerstaff* By Steele and Addison 1887.4.9.
 64 (65) . *Gebir, and Count Julian* By W. S. Landor 1887.4.16.
 65 (66) . *The Earl of Chatham* By Lord Macaulay 1887.4.23.
 66 (67) . *The Discovery of Guiana, &c.* By Sir Walter Raleigh 1887.4.30.
 67 (68) . *Natural History of Selborne, vol. I* By Gilbert White 1887.5.7.
 68 (70) . *The Angel in the House* By Coventry Patmore 1887.5.14.
 69 () . *Murder as a Fine Art, and the English Mail Coach* By Thomas de Quincey 1887.5.21.
 70 (69) . *Natural History of Selborne, vol. II* By Gilbert White 1887.5.28.
 71 (71) . *Trips to the Moon* By Lucian 1887.6.4.
 72 (72) . *Cato the Younger, Agris, Cleomenes, &c.* By Plutarch 1887.6.11.
 73 (73) . *Julius Caesar* By William Shakespeare 1887.6.18.
 74 (74) . *The Diary of Samuel Pepys* (1664–1665) 1887.6.25.
 75 (75) . *An Essay on Man, and Other Poems* By Alexander Pope 1887.7.2.
 76 (76) . *A Tour in Ireland, 1776-1779* By Arthur Young 1887.7.9.
 77 (77) . *Knickerbocker's History of New York, vol. I* By Washington Irving 1887.7.16.
 78 (78) . *Knickerbocker's History of New York, vol. II* By Washington Irving 1887.7.23.

- 79 (79) . *A Midsummer-Night's Dream* By William Shakespeare 1887.7.30.
 80 (80) . *The Banquet of Plato, and Other Pieces* By Percy Bysshe Shelley 1887.8.6.
 81 (81) . *A Voyage to Lisbon* By Henry Fielding 1887.8.13.
 82 (82) . *My Beautiful Lady, &c.* By Thomas Woolner 1887.8.20.
 83 (83) . *Travels in Interior of Africa, vol. I* By Mungo Park 1887.8.27.
 84 (84) . *Travels in Interior of Africa, vol. II* By Mungo Park 1887.9.3.
 85 (85) . *The Temple* By George Herbert 1887.9.10.
 86 (86) . *The Diary of Samuel Pepys* (Jan. to Oct., 1666) 1887.9.17.
 87 (87) . *King Henry VIII* By William Shakespeare 1887.9.24.
 88 (88) . *An Essay on the Sublime and Beautiful* By Edmund Burke 1887.10.1.
 89 (89) . *Lives of Timoleon, Paulus AEmilius, &c.* By Plutarch 1887.10.8.
 90 (1) . *Warren Hastings* By Lord Macaulay 1887.10.15.
 91 (90) . *Endymion, and Other Poems* By John Keats 1887.10.22.
 92 (91) . *A Voyage to Abyssinia* By Father Jerome Lobo 1887.10.29.
 93 (93) . *Human Nature, and Other Sermons* By Joseph Butler 1887.11.5.
 94 (92) . *Sintram and his Companions, &c.* By La Motte Fouque 1887.11.12.
 95 (94) . *The Diary of Samuel Pepys* (Nov., 1666, to May, 1667) 1887.11.19.
 96 (95) . *The Life and Death of King John* By William Shakespeare 1887.11.26.
 97 (96) . *The History of the Caliph Vathek* By William Beckford 1887.12.3.
 98 (97) . *Poems* By John Dryden 1887.12.10.
 99 (98) . *Colloquies on Society* By Robert Southey 1887.12.17.
 100 (99) . *Lives of Agesilaus, Pompey, & Phocion* By Plutarch 1887.12.24.
 101 (100) . *The Winter's Tale* By William Shakespeare 1887.12.31.
 102 (101) . *The Table-Talk of John Selden* 1888.1.7.
 103 (102) . *The Diary of Samuel Pepys* (June to Oct., 1667) 1888.1.14.
 104 (103) . *An Essay upon Projects* By Daniel Defoe 1888.1.21.
 105 (104) . *The Cricket on the Hearth* By Charles Dickens 1888.1.28.
 106 (105) . *Anecdotes of Samuel Johnson, LL.D.* By Hesther Lynch Piozzi 1888.2.4.
 107 (107) . *Lives of Solon, Publicola, &c.* By Plutarch 1888.2.11.
 108 (106) . *Prometheus Unbound* By Percy Bysshe Shelley 1888.2.18.
 109 () . *The Republic of the Future* By Anna Bowman Dodd 1888.2.25
 110 (108) . *King Lear* By William Shakespeare 1888.3.3.
 111 (109) . *Seven Discourses on Art* Sir Joshua Reynolds 1888.3.10.
 112 (110) . *A History of the Early Part of the Reign of James II* By Charles James Fox 1888.3.17.
 113 (111) . *The Diary of Samuel Pepys* (Oct., 1667, to March, 1668) 1888.3.24.
 114 (113) . *London in 1731* Don Manoel Gonzales 1888.3.31.
 115 (112) . *An Apology of the Church of England* By John Jewel 1888.4.7.
 116 (114) . *Much Ado about Nothing* By William Shakespeare 1888.4.14.
 117 (115) . *Sketches of Persia, vol. I* By Sir John Malcolm 1888.4.21.
 118 (117) . *The Shepherds' Calendar* By Edmund Spenser 1888.4.28.
 119 (118) . *The Black Death, and The Dancing Mania* By J. F. C. Hecker 1888.5.5.
 120 (116) . *Sketches of Persia, vol. II* By Sir John Malcolm 1888.5.12.

- 121 (120) . *The Diary of Samuel Pepys* (March to Nov., 1668) 1888.5.19.
 122 (119) . *Coriolanus* By William Shakespeare 1888.5.26
 123 (121) . *Areopagitica, &c.* By John Milton 1888.6.2.
 124 (123) . *Essays on Goethe* By Thomas Carlyle 1888.6.9.
 125 (124) . *Richard II* By William Shakespeare 1888.6.16.
 126 (125) . *Crito and Phaedo* By Plato 1888.6.23.
 127 (122) . *The Victories of Love, and Other Poems* By Coventry Patmore 1888.6.30.
 128 (128) . *King Henry IV* (Part I) By William Shakespeare 1888.7.7.
 129 (127) . *The Old English Baron* By Clara Reeve 1888.7.14.
 130 (126) . *The Diary of Samuel Pepys* (Nov. 1668, to end) 1888.7.21.
 131 (129) . *Lives of Pyrrhus, Camillus, &c.* By Plutarch 1888.7.28.
 132 (130) . *Essays and Tales* By Joseph Addison 1888.8.4.
 133 (131) . *Lives of Addison, Savage, and Swift* By Samuel Johnson 1888.8.11.
 134 (132) . *King Henry IV* (Part II) By William Shakespeare 1888.8.18.
 135 (133) . *Essays and Tales* By Richard Steele 1888.8.25.
 136 (134) . *Marmion* By Sir Walter Scott 1888.9.1.
 137 (135) . *The Existence of God* By Fenelon 1888.9.8.
 138 (136) . *The Merry Wives of Windsor* By William Shakespeare 1888.9.15.
 139 (137) . *The Schoolmaster* By Roger Ascham 1888.9.22.
 140 (138) . *Lives of Dion, Brutus, Artaxerxes, &c.* By Plutarch 1888.9.29.
 141 (139) . *Tour Through the Eastern Counties* By Daniel Defoe 1888.10.6.
 142 (140) . *King Henry V* By William Shakespeare 1888.10.13.
 143 (141) . *Complaints* By Edmund Spenser 1888.10.20.
 144 (143) . *The Curse of Kehama* By Robert Southey 1888.10.27.
 145 (142) . *Essays on Mankind, &c.* By Sir William Petty 1888.11.3.
 146 (144) . *The Taming of the Shrew* By William Shakespeare 1888.11.10.
 147 (145) . *Essays on Burns and Scott* By Thomas Carlyle 1888.11.17.
 148 (146) . *Lives of Nicias, Crassus, Aratus, &c.* By Plutarch 1888.11.24.
 149 (147) . *From London to Land's End* By Daniel Defoe 1888.12.1.
 150 (148) . *Romeo and Juliet* By William Shakespeare 1888.12.8.
 151 (149) . *Discourses on Satire and on Epic Poetry* By John Dryden 1888.12.15.
 152 (151) . *Lives of Romulus, Cimon, Lucullus, &c.* By Plutarch 1888.12.22.
 153 (150) . *The Amber Witch* Translated by Lady Duff Gordon 1888.12.29.
 154 (152) . *Cymbeline* By William Shakespeare 1889.1.5.
 155 (153) . *Holy Living*, vol. I By Jeremy Taylor 1889.1.12.
 156 (155) . *Lives of Numa, Sertorius, and Eumenes* By Plutarch 1889.1.19.
 157A (154) . *Holy Living*, vol. II By Jeremy Taylor 1889.1.26.
 157B (157) . *The Battle of Life* By Charles Dickens 1889.2.2
 158A (156) . *Timon of Athens* By William Shakespeare 1889.2.9.
 158B (158) . *The Memorable Thoughts of Socrates* By Xenophon 1889.2.16.
 159 (159) . *Lives of the Poets* (Prior, Congreve, &c.) By Samuel Johnson 1889.2.23
 160 (160) . *Othello, the Moor of Venice* By William Shakespeare 1889.3.2.

- 161 (161) . *Burleigh, Hampden, and Walpole* By Lord Macaulay 1889.3.9.
 162 (162) . *Paradise Lost*, vol. I By John Milton 1889.3.16.
 163 (163) . *Paradise Lost*, vol. II By John Milton 1889.3.23.
 164 (164) . *The Comedy of Errors* By William Shakespeare 1889.3.30
 165 (165) . *Travels in England* By Paul Hentzner 1889.4.6.
 166 (166) . *Lives of the Poets* (Gay, Thomson, &c.) Samuel Johnson 1889.4.13.
 167 (167) . *Holy Dying*, vol. I By Jeremy Taylor 1889.4.20.
 168 (168) . *Holy Dying*, vol. II By Jeremy Taylor 1889.4.27.
 169 (169) . *Discoveries Made upon Men and Matter* By Ben Jonson 1889.5.4.
 170 (170) . *Troilus and Cressida* By William Shakespeare 1889.5.11.
 171 (171) . *Letters on England* By Voltaire 1889.5.18.
 172 (172) . *Peter Schlemihl, the Shadowless Man* By Chamisso 1889.5.25.
 173 (173) . *The Advancement of Learning* By Francis Bacon 1889.6.1.
 174 (174) . *The Two Gentlemen of Verona* By William Shakespeare 1889.6.8.
 175 (175) . *The Legends of St. Patrick* By Aubrey de Vere 1889.6.15.
 176 (176) . *Criticisms on Milton* By Joseph Addison 1889.6.22.
 177 (177) . *The Discovery of Muscovy* By Richard Hakluyt 1889.6.29.
 178 (178) . *Antony and Cleopatra* By William Shakespeare 1889.7.6.
 179 (179) . *The Poetics of Aristotle, &c.* 1889.7.13.
 180 (180) . *Paradise Regained, and Samson Agonistes* By John Milton 1889.7.20.
 181 (181) . *Love's Labour's Lost* By William Shakespeare 1889.7.27.
 182 (182) . *Utopia* By Sir Thomas More 1889.8.3.
 183 (183) . *Third Voyage for the Discovery of a North-West Passage* By Capt. W. E. Parry 1889.8.10.
 184 (184) . *Essays Civil and Moral* By Francis Bacon 1889.8.17.
 185 (185) . *King Henry VI* (Part I) By William Shakespeare 1889.8.24.
 186 (186) . *Tales from the Decameron* By Giovanni Boccaccio 1889.8.31.
 187 (187) . *Table Talk, and Other Poems* By William Cowper 1889.9.7.
 188 (188) . *Letters on Sweden, Norway and Denmark* By Mary Wollstonecraft 1889.9.14.
 189 (189) . *King Henry VI* (Part II) By William Shakespeare 1889.9.21.
 190 (190) . *Dialogues of the Dead* By Lord Lyttleton 1889.9.28.
 191 (191) . *Rasselas, Prince of Abyssinia* By Samuel Johnson 1889.10.5.
 192 (192) . *King Henry VI* (Part III) By William Shakespeare 1889.10.12.
 193 (193) . *The Visions of England* By Francis T. Palgrave 1889.10.19.
 194 (194) . *A Defence of Poesie* By Sir Philip Sidney 1889.10.26.
 195 (195) . *Old Age and Friendship* By Marcus Tullius Cicero 1889.11.2.
 196 (196) . *King Richard III* By William Shakespeare 1889.11.9.
 197 (197) . *Daphnaida, and Other Poems* By Edmund Spenser 1889.11.16.
 198 (198) . *Murad the Unlucky, and Other Tales* By Maria Edgeworth 1889.11.23.
 199 (199) . *Twelfth Night: or, What You Will* By William Shakespeare 1889.11.30.
 200 (200) . *Letters to Sir Wm. Windham and Mr. Pope* By Lord Bolingbroke 1889.12.7.
 201 (201) . *The Task, and Other Poems* By William Cowper 1889.12.14.
 202 (202) . *Titus Andronicus* By William Shakespeare 1889.12.21.

- 203 (203) . *Consolations in Travel* By Sir Humphry Davy 1889.12.28.
204 (204) . *The History of John Bull* By John Arbuthnot 1890.1.4.
205 (205) . *Measure for Measure* By William Shakespeare 1890.1.11.
206 (206) . *Pericles* By William Shakespeare 1890.1.18.
207 (207) . *Of Civil Government and Toleration* By John Locke 1890.1.25.
208 (208) . *All's Well That Ends Well* By William Shakespeare 1890.2.1.
209 (209) . *Romeus and Juliet, &c.* By Arthur Brooke 1890.2.8.
210 (210) . *The Haunted Man* By Charles Dickens 1890.2.15.
211 (211) . *On Heroes, Hero-Worship* By Thomas Carlyle 1890.2.22.
212 (212) . *Friends in Council* By Sir Arthur Helps 1890.3.1.
213 (213) . *The Life of Nelson* By Robert Southey 1890.3.8.
214 (214) . *Selections from Wordsworth* 1890.3.15